

住宅の耐震化は お済みですか？



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

昭和56年5月31日以前に着工された木造のお家にお住まいの方はご確認を

震度 7 6強 6弱 5強 5弱 4 3以下	⚠ 長野県では 今後30年以内に 大きな地震が起きる ことが予想されています	震度 7 6強 6弱 5強 5弱 4 3以下
糸魚川-静岡構造線 断層帯(全体)の地震	想定される被害	南海トラフ地震 (陸側ケース)
約5,600人~7,100人	死者数 ※観光客を考慮した場合	約160人~210人
約8,400棟~9,800棟	全壊・焼失建物数	約2,400棟~3,100棟
14%~30%	30年以内の 地震発生確率	約80%程度
長野県内の広い範囲で震度6以上の揺れが発生し、それに伴って地盤の液状化現象や土砂災害が多数発生します。		飯田市、伊那市、阿南町など6つの自治体で最大震度6強の地震が発生し、諏訪湖周辺や千曲川流域では液状化の被害も多く発生します。

本図は特定の地震を想定したものであり、地震に「安全な場所」はありません。日頃の備えが大切です。

※本図作成：平成27年3月

まずは**無料診断**から

お住まいの市町村窓口

へお問い合わせを →

市町村窓口
一覧ページ



いつ起こるかわからない地震。 家のこれからのこと、考えてみませんか

住宅耐震化の流れ



耐震改修の補助制度

1	耐震改修工事費用への補助	※詳細は市町村窓口へお問い合わせください
2	補助の上乗せ	※詳細は長野県へお問い合わせください
3	耐震性のない住宅の解体への補助	※詳細は市町村窓口へお問い合わせください

その他負担を軽減できる制度等

低コスト工法

耐震改修工事費用を抑えられる工法があります。ぜひご活用ください。

代理受領

まとまった資金の準備が難しい方は、こんな制度もあります。

低コスト工法の メリット



工事費が安価



工事の期間が短い



工事中も
自宅で生活できる



騒音やホコリなどを
軽減できる



環境にやさしい
(廃棄物の減量化を実現)

代理受領 制度



通常



工事費－補助金
差額

支払い

補助金

事業者

工事費全額

支払い

事業者

チェックリスト

Q1	建物は1981年(昭和56年)5月以前に建てられましたか?	はい	いいえ
Q2	これまでに大地震・浸水・火災・車の衝突・崖崩れなどの大きな災害や事故に遭ったことがありますか?	はい	いいえ
Q3	建築確認を省略した増築、2回以上の増築、または壁や柱を一部撤去するような改変をしていますか?	はい	いいえ
Q4	建物に老朽化、腐り、白蟻被害、雨漏り、ひび割れなどの傷みがありますか?	はい	いいえ
Q5	建物の平面形状は、L字・T字・コの字などの複雑な形ですか?	はい	いいえ
Q6	一辺が4m以上ある大きな吹き抜けがありますか?	はい	いいえ
Q7	2階の外壁の真下に、1階の壁がない部分がありますか?	はい	いいえ
Q8	1階の外壁で、東・西・南・北のいずれかの面に壁がまったくない箇所がありますか?	はい	いいえ
Q9	和瓦・洋瓦などの重い屋根で、かつ1階の壁が少ない建物ですか?	はい	いいえ
Q10	基礎は、鉄筋コンクリートの布基礎・ベタ基礎・杭基礎以外ですか?	はい	いいえ

『いいえ』の数が、10個 …………… ひとまず安心ですが、念のため専門家に診てもらいましょう。

8個～9個 …………… 専門家に診てもらいましょう。

7個以下 …………… 心配ですので、専門家に診てもらいましょう。

※ご注意)この診断では地盤については考慮していませんので、ご自宅が立地している地盤の影響については専門家におたずねください。

お住まいの市町村窓口へお問い合わせを

市町村窓口
一覧ページ

